

# 体育会学生の就職活動状況調査（2018年11月）

2018年12月

弊社では、体育会学生の就職活動状況を明らかにするため、「アスプラ2020」利用中の学生にアンケートを行いました。

---

## 【調査概要】

調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生  
回答件数：241件  
調査方法：インターネット調査  
調査期間：2018年11月7日~14日

## 【TOPICS】

### ▼OBOG訪問の状況

既にOBOG訪問を行った学生は14.0%。「これから訪問したい」と考えている学生は約7割。

### ▼インターンシップの参加状況

11月時点で体育会学生の約4割が既にインターンシップへ参加。  
参加したインターンシップのスケジュールは「半日（42.8%）」「丸1日（33.7%）」が76.5%を占める。

### ▼志望する職種・業界

現時点での志望業界は、「食品・飲料（27.4%）」「総合商社（25.3%）」「スポーツ（23.7%）」の3業界がトップに

---

## ＜本資料について＞

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。  
資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

## ＜本件に関するお問い合わせ先＞

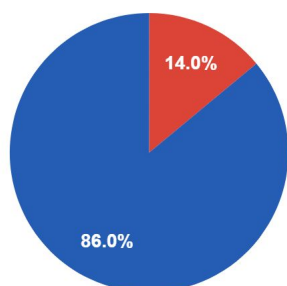
株式会社アスリートプランニング 広報担当  
Tel: 03-5937-8460（受付時間：9:00~18:00/土日祝日を除く）  
Mail: athlete2020@asupura.com

## ◆OBOG訪問の状況

他大学・他部活を含む、これまでOBOGを訪問した経験のある学生は14.0%、「これから訪問したい」と回答したのが67.9%となりました。体育会学生からは「部活の先輩が就職した企業の話聞く」という声が多く、部活動の先輩・後輩のつながりが就職活動でも利用されていることが考えられます。

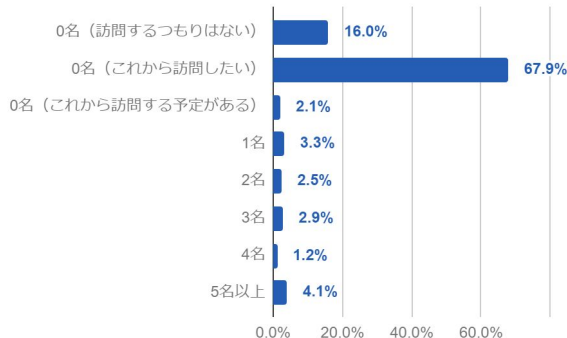
また体育会学生の特徴として、部活ごとにOBOGが4年生（現就活生）向けに部内で就活対策を行っているところもあり、自ら訪問はしていないが、OBOGとの交流がある学生もいると推測されます。

**OBOG訪問の状況**  
● 訪問した ● 訪問していない



**OBOG訪問人数**

※他大学他部活を含む、これまでに会った累計人数



## ◆インターンシップの参加状況

調査実施時(11月7日~14日)までにインターンシップへ参加したことがある体育会学生は39.1%となりました。また、「これから参加する予定がある」（11.5%）と、「これから参加したい」（37.1%）という回答を合わせると、48.6%の学生が今後のインターンシップの参加へ前向きな回答をしている事が分かりました。

近年の就職活動では「企業や業界の理解が深まる」「選考に優利になる」という理由から、インターンシップに参加をする学生が増加傾向にあります。ところが従来開催の多かった夏季インターンの場合、体育会学生は練習や大会などの時期と重なるために、実施期間が長めの夏季インターンシップへは参加が難しいと思われてきました。

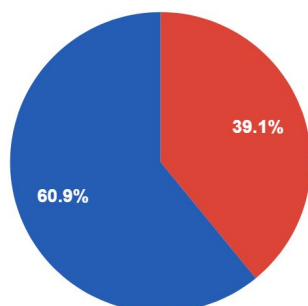
しかし、近頃インターンシップを冬季に開催（開催予定）する企業が増えた為（※）、比較的部活動が緩やかになる来月以降の参加率は徐々に増加していくと推測されます。

※『株式会社ディスコ キャリタスリサーチ 2019年卒・新卒採用に関する企業調査-内定動向調査（2018年10月分）』

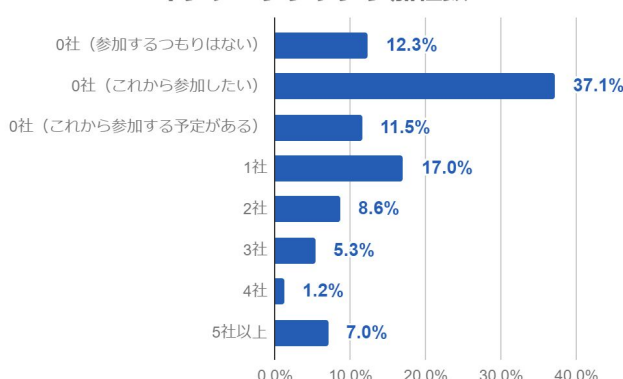
**インターンシップの参加状況**

※これまでに参加したものを全て

● 参加した ● 参加していない



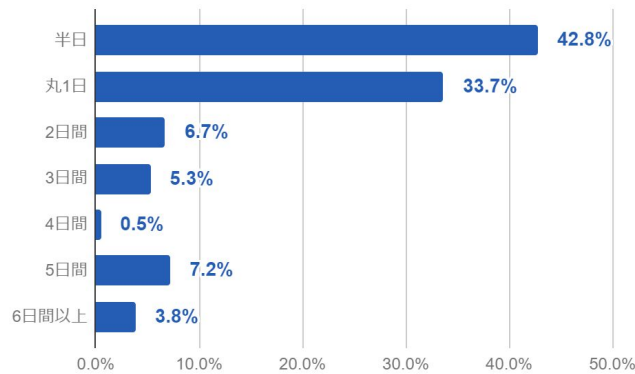
**インターンシップ参加社数**



参加したインターンシップの日程については、「半日」（42.8%）と「丸1日」（33.7%）を回答した学生が最も多いという結果が出ました。こちらについても部活動との両立を考えた時に、部活動に影響が出にくい短期間のインターンシップを選択し、参加をする学生が多くなっていることが考えられます。

またインターンシップ自体も近頃は長期間よりも、短期間のものが増えているという結果が出ております（※）。今後も引き続き、企業側にも学生側にもメリットの多い短期間インターンシップが増えていくと見込まれます。

**インターンシップの参加日程**  
※参加したインターンシップのスケジュール



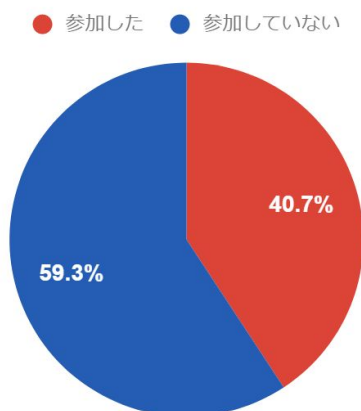
## ◆就職活動状況

### ○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

合同説明会に参加した学生の割合は、調査実施時(11月7日~14日)には「0社」と回答する学生が59.3%と大半を占めています。実際に体育会学生からは「就職活動に向けて、何から始めればいいのか分からない」と不安を感じる声も多く上がっています。

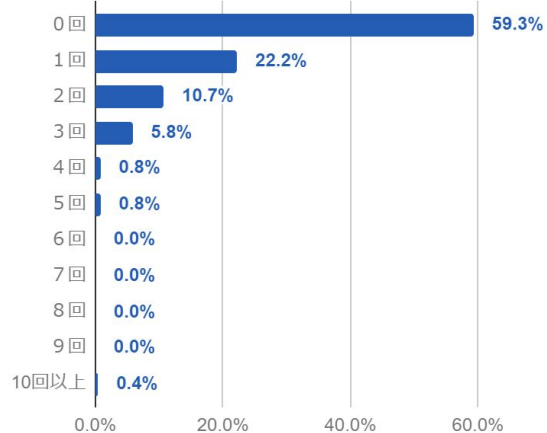
一方で今回既に40.7%の学生が合同説明会へ参加している事から分かるように、近年早期（3月1日の就職情報解禁以前）に開催される合同説明会では、インターンシップの案内を行う企業が多く、「就職活動を始めるのに、まずはインターンシップに参加した方が良かったので、今の時期に合同説明会に行って情報を集める」という学生の様子も伺えます。

**合同説明会の参加状況**

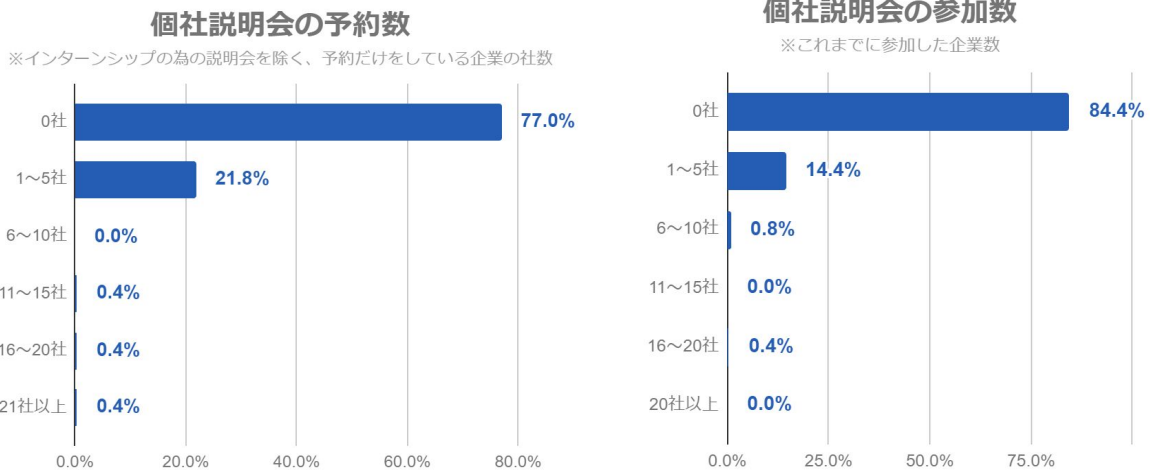


**合同説明会の参加回数**

※学内開催の合同説明会を除く



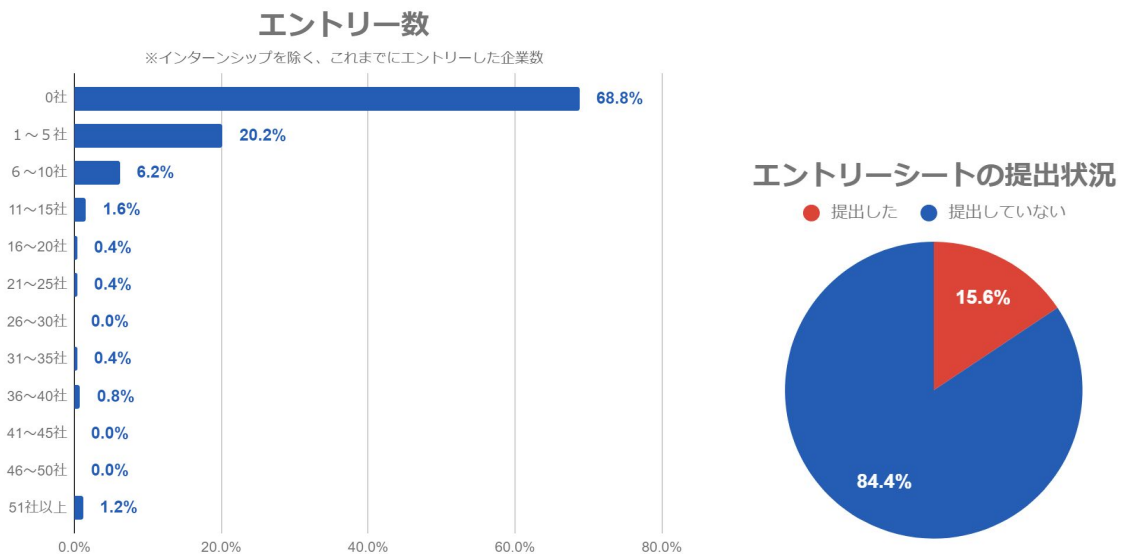
個社説明会の参加状況は、予約をしている学生が23.0%いるのに対し、参加した学生は15.6%という結果になりました。これから就職活動が本格化してくる為、今後は予約数・参加数共に徐々に増加していくと推測されます。



### 〇エントリー数・エントリーシートの提出数

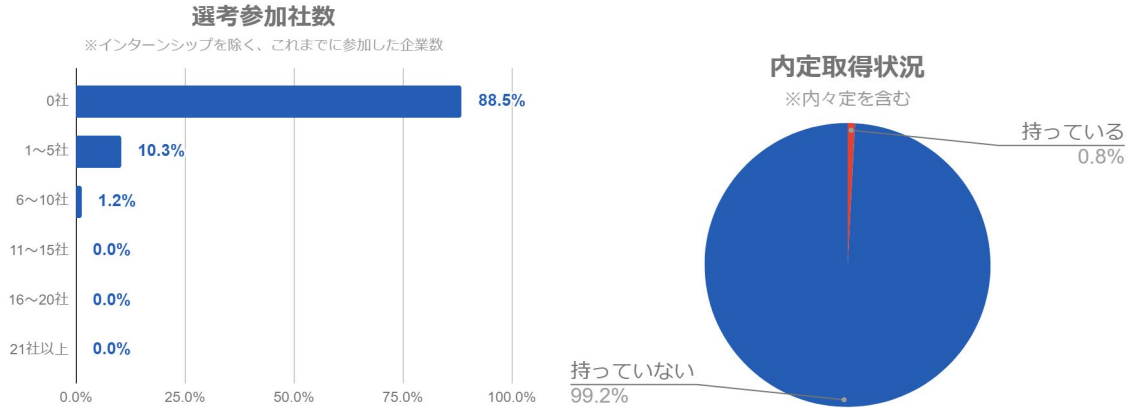
11月時点のエントリー数は就活情報解禁前にも関わらず、31.2%の学生が済ませているという結果となりました。一部外資系企業やマスコミ関係企業の中には例年10月頃より選考を開始しているところもある為、この結果になったと言えます。

また、エントリーシートの提出数は15.6%の学生が提出したと回答しており、エントリーを済ませた学生の約半数という結果になりました。部活動を行いながらエントリーシートの作成・提出は、毎年体育会学生の一つの壁となっております。今後の動きとして、部活動が落ち着き始める1月以降に動きが見られると推測されます。



## ○本選考への参加・内定取得状況

11月1日時点で本選考へ参加した学生は11.5%。エントリー状況とも重なりますが、一部企業では既に選考が開始されているところもあり、それが反映されているように伺えます。また、内定を持っている体育会学生は0.8%という結果となりました。

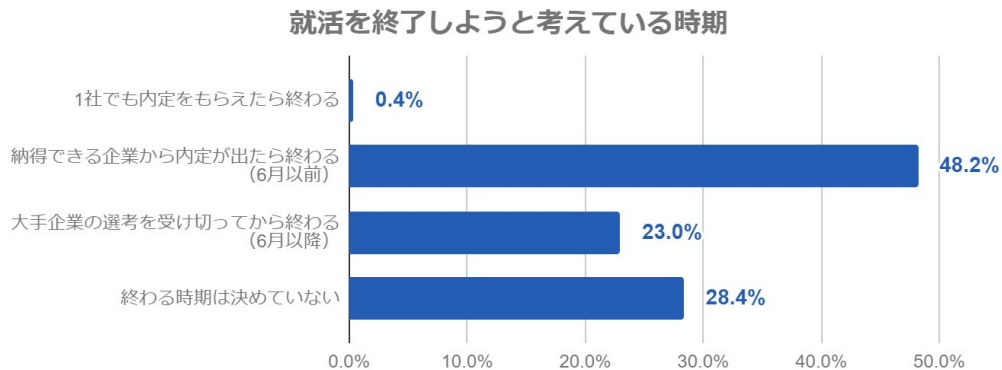


就職活動を終了しようと考えている時期について、「納得できる企業から内定が出たら終わる」と回答する学生が48.2%と、最も多い結果となりました。

6月以前であっても、納得できる企業からの内定が出れば就活を終了するとしている一方で、実際に「終わる時期を決めていない」学生も28.4%いる結果に。

例年体育会学生の中には、大学最後の大会に向けて早めに就職活動を終了したいと考える学生が一定数おります。しかし本当に自分に合った企業を見つけたいと考える学生も多い他、OBOGが入社した大手企業への選考も受けたいと考えている学生が多いのも体育会学生の特徴になります。

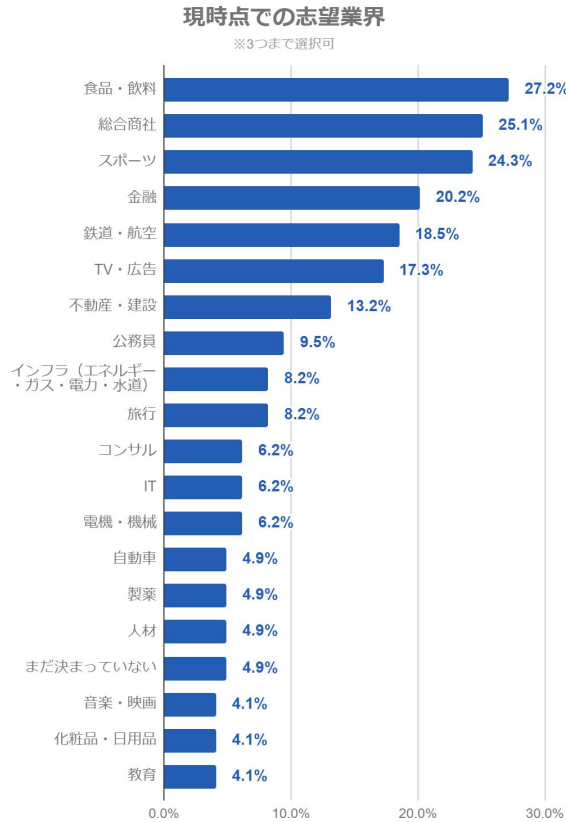
就職活動が本格化する前の11月時点では、まだ自身の就活へのイメージが出来上がっていない学生が多数を占めていると考えられます。その為「1社でも内定をもらえたら終わる」答えた学生は0.4%と少なく、ほとんどの学生は複数社内定が出た後に最終決定しようと考えている様子が伺えます。



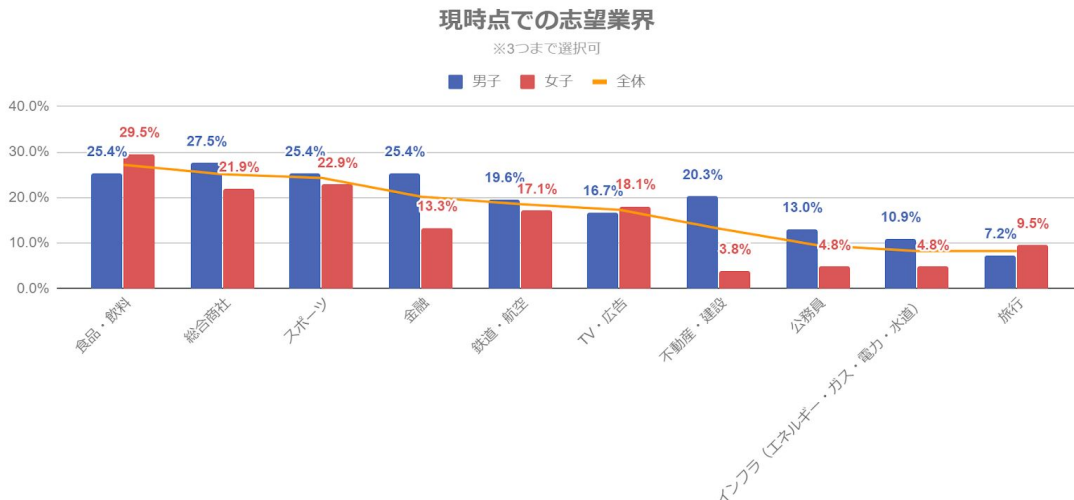
## ◆志望する職種・業界

現時点での志望業界上位20業界を見ると、「食品・飲料」が27.2%で最も高い結果となりました。次いで「総合商社(25.1%)」や、「スポーツ(24.3%)」が多く選ばれました。

部活動に専念してきている体育会学生は、これまでの人生で関わりのある仕事を選ぶ傾向が強く、それが身近な業界を選んでいる結果に出ています。

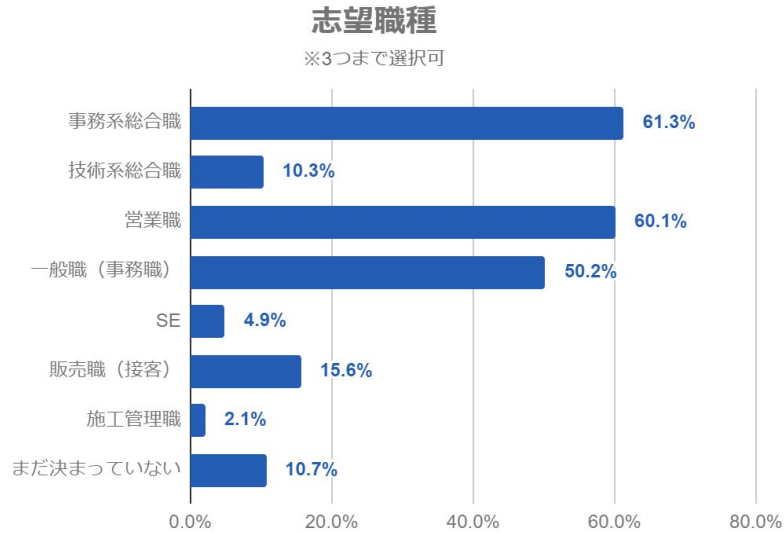


また上位10業界の男女比率を見ると、1位の「食品・飲料」は女子が29.5%と男子を4.1ポイント上回りました。また4位の「金融」は男子が25.4%で女子より12.1ポイント、「不動産・建設」は女子より16.5ポイントも上回る結果となりました。今回大きな差が現れた「金融」業界は、採用数削減の影響による一般職の採用数減少が大きく取り上げられており、また「不動産・建設」業界では未だ「女性社員が少なく、大変な環境」という印象が原因の一つとして推測されます。



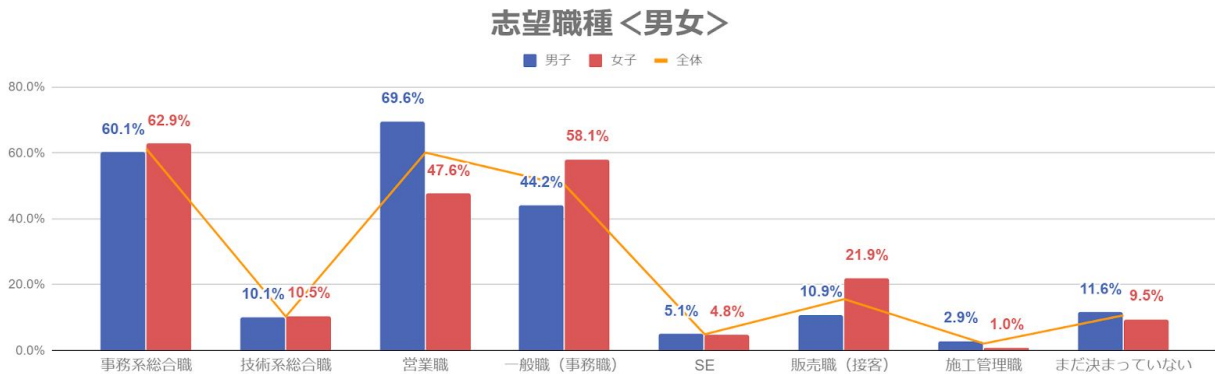
志望職種については、「事務系総合職(61.3%)」「営業職(60.1%)」「一般職(事務職)(50.2%)」が上位を占めました。「技術系総合職（10.3%）」「SE（4.9%）」が他と比べて低い数字の結果が出た要因としては、アスプラ会員の約90%が文系学生という事もあり、「専門知識を持っていないから」という考えが一つの要因になっているように伺えます。

またマネージャーやトレーナー等、チームを支えるポジションを経験した学生がいる事からも、一定数「一般職（事務職）」として選択肢の1つとして選んでいる可能性があります。



また男女別に見たとき、大きく差が出たのが「営業職」「一般職（事務職）」「販売職（接客）」の3項目でした。「営業職」は男子（69.6%）が女子（47.6%）より22ポイント高く、また「一般職（事務職）」は女子（58.1%）が男子（44.2%）より13.9ポイント、「販売職（接客）」は女子（21.9%）が11ポイント高い結果となりました。

昨今の新卒が選ぶ「一般職（事務職）」の理由の中には、「結婚・出産・育児を経ても、正社員として仕事を続けられる可能性があるから」と各メディアでも取り上げられており、今後も一般職へ志望する学生は一定数を保ちながら、20卒学生の就活は続いていくと推測されます。



## ○企業選びの軸

企業選びの軸では、「安定性」が59.3%で最も高い結果となりました。次いで「余暇」(38.3%)や、「社会的交流性」(37.9%)が選ばれています。「安定性」を選ぶ理由の一つとして、「就職した後も長く働きたい」という組織への忠誠心や帰属意識といった、体育会学生の特徴が現れています。

また「余暇」が多く選ばれている理由の中には、過去の体育会学生の傾向から「スポーツを続けたい」という思いが現れていると考えられます。

